

やけのそよ風



No.37

令和5年3月13日
大阪市立焼野小学校
校長 川辺 智久

心と心が通い合った「卒業お祝いの会」

卒業式まであと2週間となった3月3日（金）、「卒業お祝いの会」を行いました。感染症対策の影響で、過去数年間は事前に撮った動画を見るなど、リモートで行っていましたが、今年度は久しぶりに全校児童が講堂に集まって「お祝いの会」を開きました。

この日まで、1年生から5年生の子どもたちは、6年生をお祝いするための歌や合奏、メッセージなどを一生懸命練習したり、輪飾りや色紙を作ったりして準備してきました。

司会進行やあいさつは、児童会運営委員の子どもたちです。花のアーチを通して6年生が入場したあと、6年生の卒業をお祝いする気持ちをこめて、各学年の歌や合奏、メッセージなどの出し物が披露されました。



1年生の出し物は、鍵盤ハーモニカの合奏「きらきら星」と合唱「ドラえもん」の替え歌でした。替え歌の歌詞の内容が、とても心に響きました。2年生は、鍵盤ハーモニカの合奏「よろこびの歌」と「世界が一つになるまで」の合唱です。とても元気いっぱいの歌声でした。3年生は、合唱「音楽のおくりもの」とリコーダー奏「思い出のアルバム」でした。「思い出のアルバム」は、今年初めてリコーダーを学習したとは思えないほど美しい二重奏でした。4年生は、合唱「BELIEVE」。講堂に響く、とてもきれいな歌声でした。5年生は、合唱「すてきなともだち」。さすが5年生、とても美しい2部合唱でした。また、頼もしく、しっかりとした声で、4月から最高学年になる決意を込めて6年生にメッセージを送りました。

1年生から5年生までの出し物のあと、6年生からも在校生に向けてリコーダー奏「地上の星」と合唱「3月9日」のプレゼントがありました。さすが6年生は、とても上手な合唱・合奏で、堂々としていて、全校のみんなが聴き入っていました。

6年生からの出し物の後、在校生全員から6年生に色紙をプレゼントしました。色紙は、ドレミ班（たてわり班）ごとに5年生が中心になって作り、班の代表で1年生が6年生に手渡しました。そして、6年生からは、在校生に「学校をこれまで以上にきれいにしてほしい。」という思いをこめて、手作りのぞうさんが贈られました。

最後に、全校のみんなで焼野小学校校歌を歌いました。この1年生から6年生までの子どもたち全員で校歌を歌うのは、これが最後です。講堂中に元気な声が響き渡っていました。

運営委員の終わりのあいさつの後、6年生がアーチを通して退場しました。どの学年の出し物も、6年生の卒業をお祝いする気もちや、お世話になったことに感謝する気もち、お別れをさびしく思う気持ちが伝わってきました。全校児童の心が通い合う、とてもすてきなひとときでした。6年生の中には、感激して涙ぐんでいる子もいました。子どもたちの姿を見て、下級生の人たちにやさしく関わったり、全校生のリーダーとして活躍したりする6年生の姿と、6年生の卒業を心からお祝いしている在校生の気持ちが重なり、いろいろな思い出がよみがえってきました。



（※裏面に続く）

(※表面より)

数年ぶりの全校そろって対面での「お祝いの会」ですが、オンラインや動画ではこのような雰囲気は味わえないでしょうし、卒業生と在校生がお互いを思う心も対面だからこそしっかりと伝わってきたのだらうと思います。今回の「お祝いの会」で、人と人が直につながることの大切さを痛感しました。



今後は、いよいよ感染症対策の制限が緩和されていきますが、次年度以降、コロナ禍ではできなかった、子どもたちや保護者、地域の方などの学校内外の「人と人とのつながり」を大切にしたい取り組みをこれまで以上に進めたいと思います。

6年生が焼野小学校に登校するのは、あとわずかです。1日1日を大切にすごし、残り少ない小学校生活を、悔いのないように送ってほしいと願っています。



教育活動の充実に向けて（令和5年度の取り組み）

学校が様々な教育課題への対応が求められる中、教育活動の充実に向けて各校で様々な取り組みが行われています。本校でも、限られた時間の中で、子どもにとって効果的な教育活動が行えるようにするとともに、子どもたち一人一人に寄り添うための時間を確保するため、本校では次年度より次のような取り組みを行います。保護者の皆様のご理解とご協力をお願いします。

● 学期初めに「5時間授業期間」を設定します

長期休業後は、登校への負担感を感じる子どもが見られます。中には、登校しにくい状況が見られる子どももいます。また、学期初めは教職員にとって、授業や行事の準備、学級事務、会議や打合せ、書類作成など、1年間の中でも業務量が多く、多忙な時期です。この時期に、子どもたちが学校生活に徐々に意欲を高められるように、また、教職員がゆとりをもって子どもたちに向き合えるようにするため、学期初めの1週間程度を「5時間授業期間」とし、全学年5時間授業（始業式は3時間授業）とすることで、子どもたちや教職員の負担感、多忙感を軽減します。

・ 5時間授業を行う期間（予定）※変更する場合があります。

1学期：4月11日（火）～14日（金） ※4月10日（月）は始業式で3時間授業

（1年生は、入学後の数週間は給食後に下校します。）

2学期：8月28日（月）～31日（木） ※8月25日（金）は始業式で3時間授業

3学期：1月10日（水）～15日（月） ※1月9日（火）は始業式で3時間授業

※なお、「5時間授業」の設定により、年間で2年生では2時間程度、3年生では7時間程度、4～6年生では9時間程度の授業時数が減少しますが、従来、実際の年間授業時数は、学習指導要領に定められた標準時数より約80～110時間上回っており、授業進度に大きく影響することはありません。

● 「専科指導」を拡充します

文部科学省より、小学校における「教科担任制」推進の方向性が示されています。本校でも、今後を見据え、従来の「習熟度別少人数指導」を縮小し、「専科指導」を拡充します。（※今年度の専科指導は、今年度は3・4年生で週3時間程度、5・6年生で週5時間程度実施しています。）各学年で専科指導の週授業時数の設定を増やすことで、学級担任の持ち時間を軽減し、その時間を効果的に活用することで授業の質の向上を図ります。また、教材研究の軽減を図るとともに、教員がゆとりをもって子どもたちに向き合えるようにします。

※「校長室だより」カラー版は、本校ホームページ「配布文書」にアップしています。